

第71回日本産婦人科医会記者懇談会
平成25年12月11日@日本記者クラブ

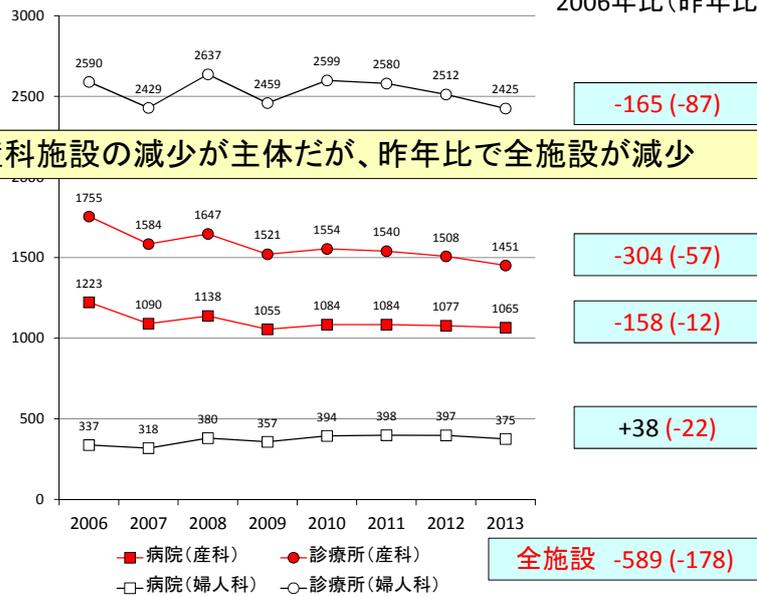
産婦人科危機再び!?

産婦人科の動向と 勤務医就労環境

日本産婦人科医会勤務医部会
日本医科大学
中井章人 関口敦子

産婦人科施設数の推移

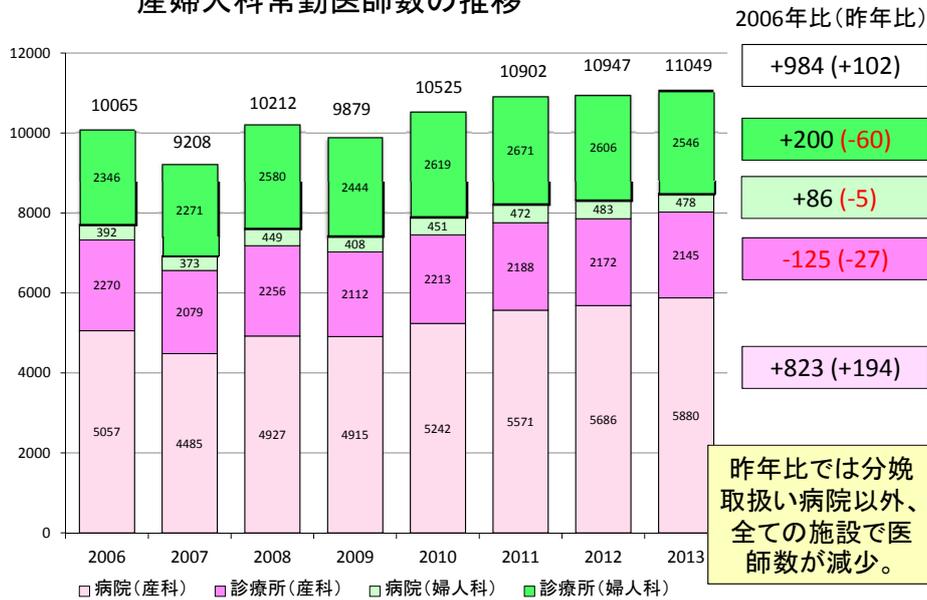
2006年比(昨年比)



産科施設の減少が主体だが、昨年比で全施設が減少

日本産婦人科医会施設情報調査2006-2013

産婦人科常勤医師数の推移

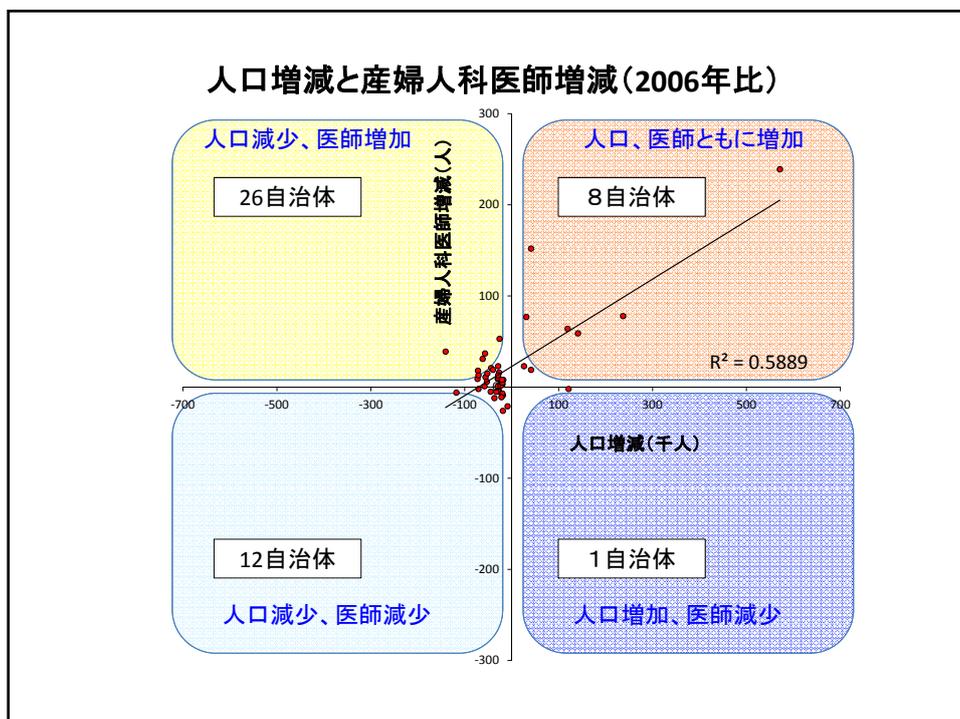
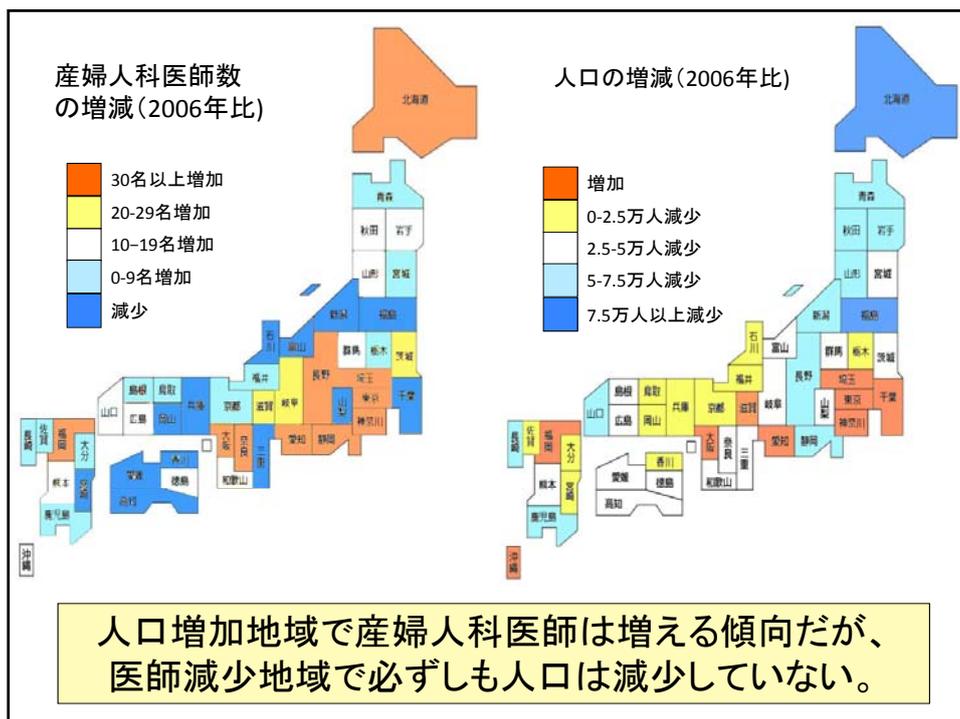


日本産婦人科医会施設情報調査2006-2013

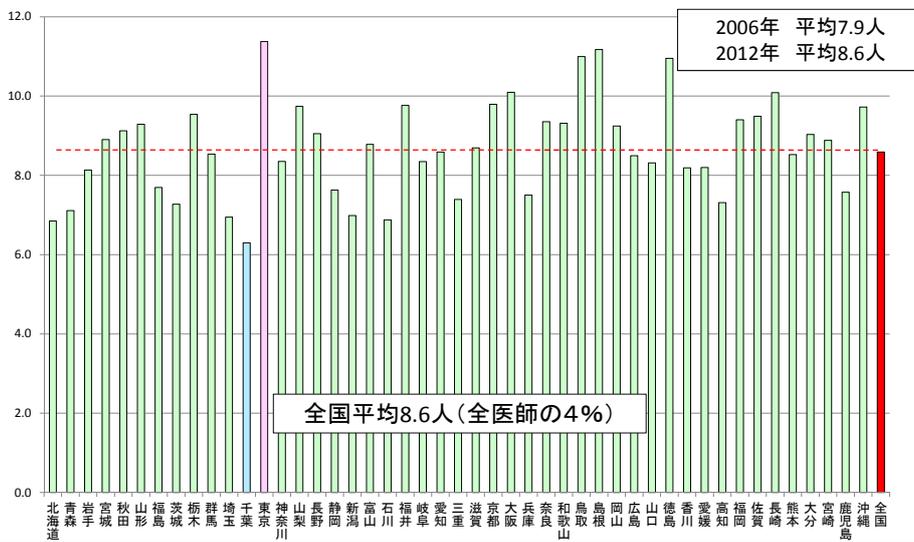
都道府県ごとの産婦人科医師総数の年次推移

	2006	2012	2013		2006	2012	2013
北海道	335	402	374	滋賀県	100	121	123
青森県	87	94	96	京都府	249	216	257
岩手県	88	106	106	大阪府	742	839	894
宮城県	198	212	207	兵庫県	444	488	418
秋田県	84	105	97	奈良県	77	129	130
山形県	96	101	107	和歌山県	73	96	92
福島県	157	154	151	鳥取県	62	63	64
茨城県	191	212	214	島根県	78	78	79
栃木県	184	197	190	岡山県	188	181	179
群馬県	160	170	170	広島県	226	241	242
埼玉県	442	487	501	山口県	104	106	119
千葉県	392	433	390	徳島県	75	83	85
東京都	1266	1415	1505	香川県	88	78	81
神奈川県	679	759	757	愛媛県	121	131	116
山梨県	86	80	83	高知県	67	55	55
長野県	156	193	193	福岡県	401	459	478
静岡県	254	278	285	佐賀県	75	79	80
新潟県	166	164	164	長崎県	141	136	142
富山県	100	91	95	熊本県	141	142	154
石川県	101	95	80	大分県	99	107	107
福井県	75	77	78	宮崎県	111	102	100
岐阜県	151	166	172	鹿児島県	122	137	128
愛知県	574	628	638	沖縄県	118	128	137
三重県	141	139	136	全国	10065	10947	11049

2006年と比較し13自治体、昨年比で15自治体で(全国の3分の1)産婦人科医師数は減少



2013年人口10万人あたりの産婦人科医師数



人口10万人あたりの産婦人科医師数は6.3人から11.4人まで2倍近い格差がある

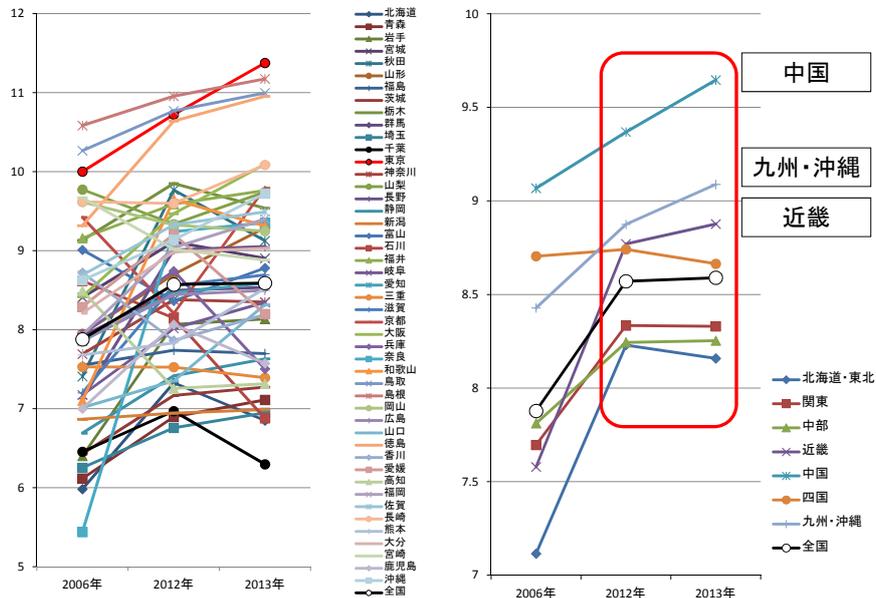
日本産婦人科医会施設情報調査2013

産婦人科医師数(人口10万対)年次推移

	2006年	2012年	2013年		2006年	2012年	2013年
北海道	6.0	7.3	6.8	滋賀	7.2	8.6	8.7
青森	6.1	6.9	7.1	京都	9.4	8.2	9.8
岩手	6.4	8.1	8.1	大阪	8.4	9.5	10.1
宮城	8.4	9.1	8.9	兵庫	7.9	8.7	7.5
秋田	7.4	9.8	9.1	奈良	5.4	9.2	9.4
山形	7.9	8.7	9.3	和歌山	7.1	9.6	9.3
福島	7.5	7.7	7.7	鳥取	10.3	10.8	11.0
茨城	6.4	7.2	7.3	島根	10.6	11.0	11.2
栃木	9.1	9.9	9.5	岡山	9.6	9.3	9.2
群馬	7.9	8.5	8.5	広島	7.9	8.4	8.5
埼玉	6.3	6.8	6.9	山口	7.0	7.4	8.3
千葉	6.5	7.0	6.3	徳島	9.3	10.6	11.0
東京	10.0	10.7	11.4	香川	8.7	7.9	8.2
神奈川	7.7	8.4	8.3	愛媛	8.3	9.2	8.2
山梨	9.8	9.3	9.7	高知	8.5	7.3	7.3
長野	7.1	9.0	9.1	福岡	7.9	9.0	9.4
静岡	6.7	7.4	7.6	佐賀	8.7	9.3	9.5
新潟	6.9	6.9	7.0	長崎	9.6	9.6	10.1
富山	9.0	8.4	8.8	熊本	7.7	7.8	8.5
石川	8.6	8.1	6.9	大分	8.2	9.0	9.0
福井	9.2	9.6	9.8	宮崎	9.7	9.0	8.9
岐阜	7.2	8.0	8.3	鹿児島	7.0	8.1	7.6
愛知	7.9	8.5	8.6	沖縄	8.6	9.1	9.7
三重	7.5	7.5	7.4	全国	7.9	8.6	8.6

2006年と比較し11自治体、昨年比で14自治体で人口10万人あたりの産婦人科医師数は減少している。

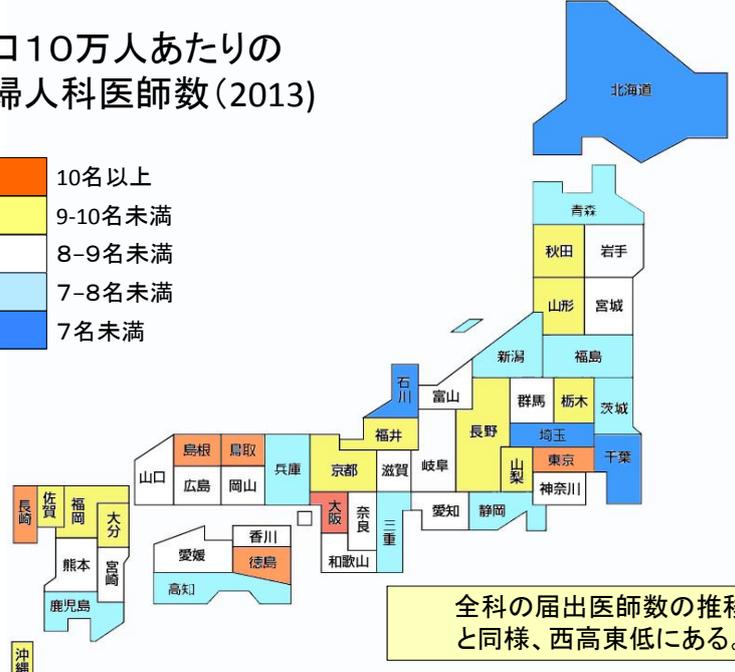
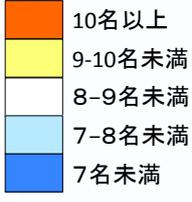
地域ごとの人口10万人対医師数の推移



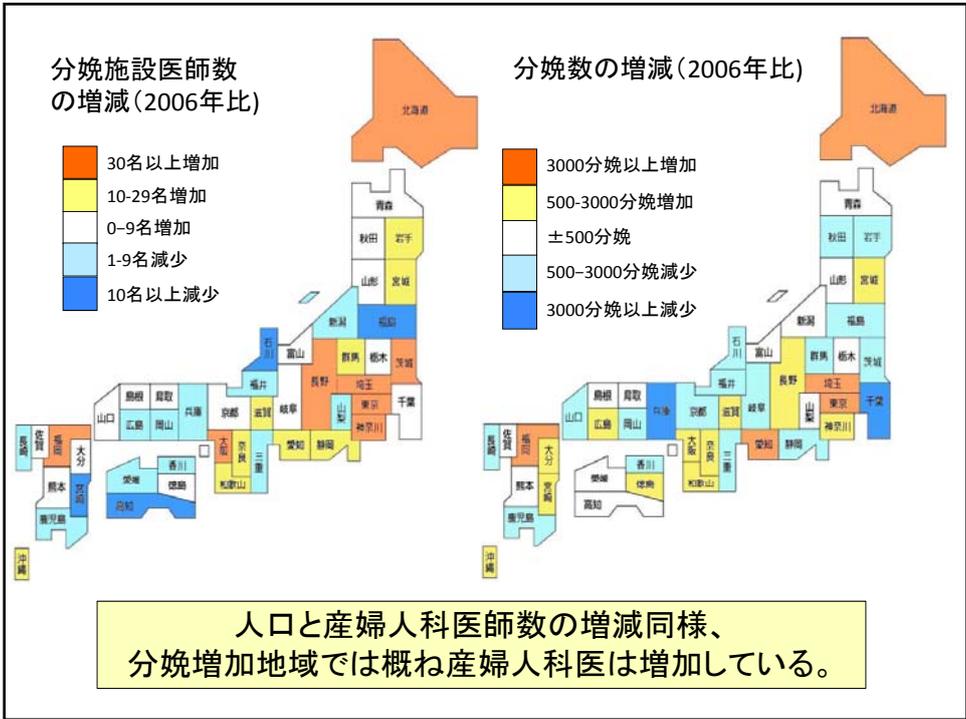
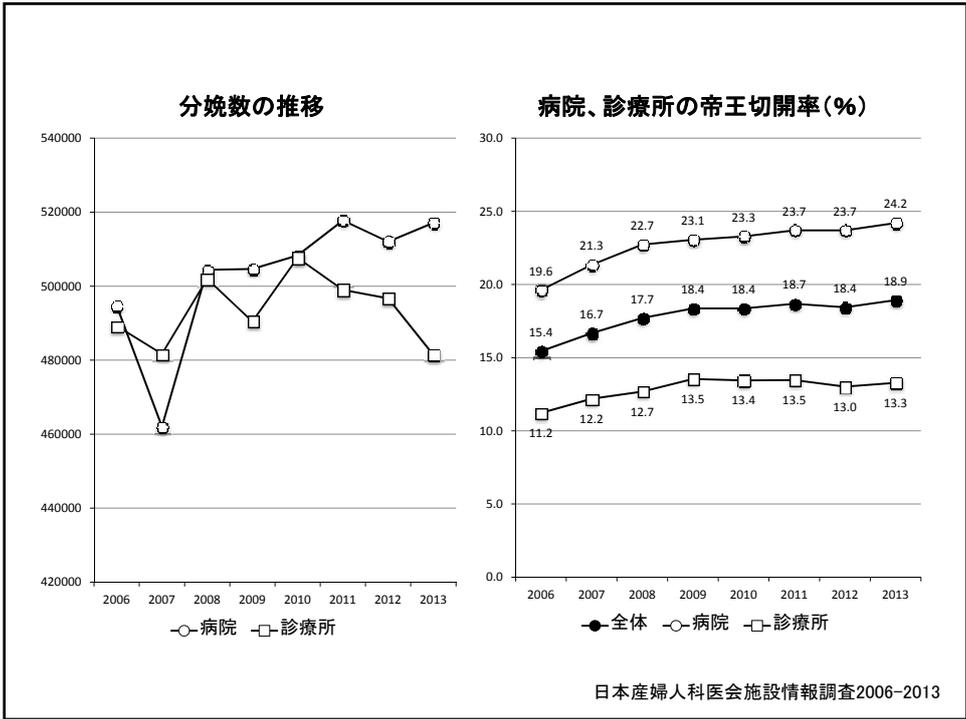
地域格差は拡大する傾向にある。

日本産婦人科医会施設情報調査2006-2013

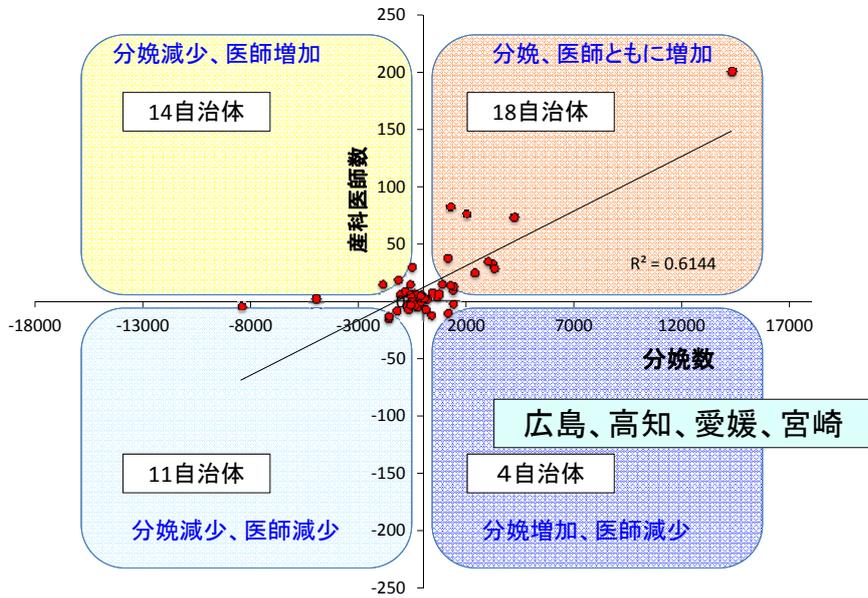
人口10万人あたりの産婦人科医師数(2013)



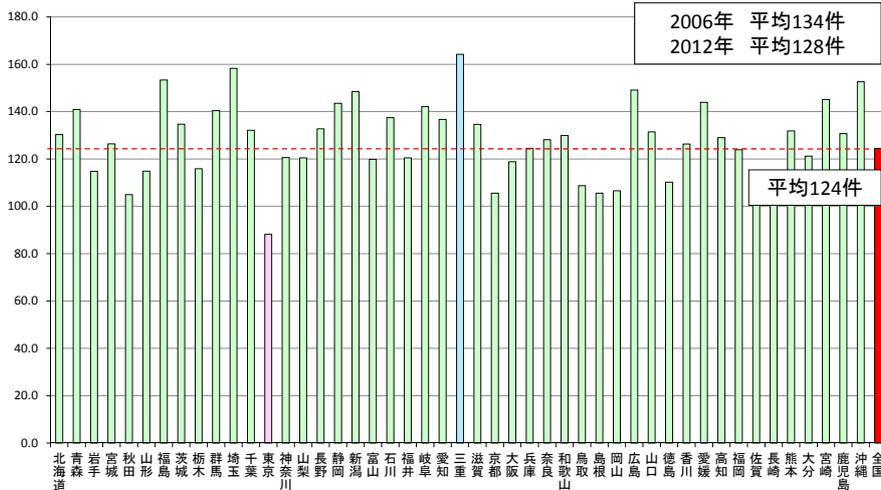
全科の届出医師数の推移と同様、西高東低にある。



分娩数の増減と産科医師数の増減



医師一人当たりの分娩数



医師一人当たりの分娩数は88人から164人まで2倍近い格差がある

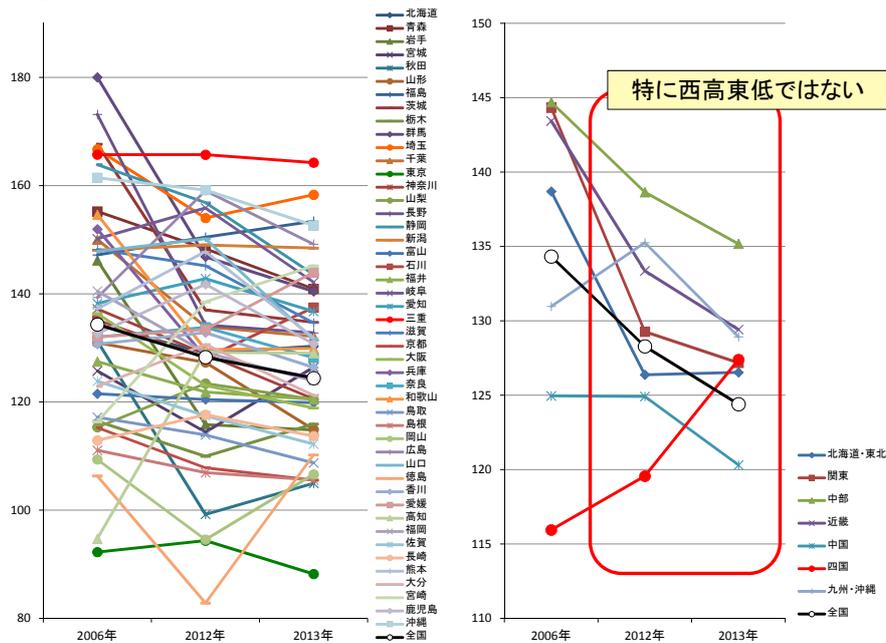
日本産婦人科医会施設情報調査2006-2013

医師1人あたりの分娩数の年次推移

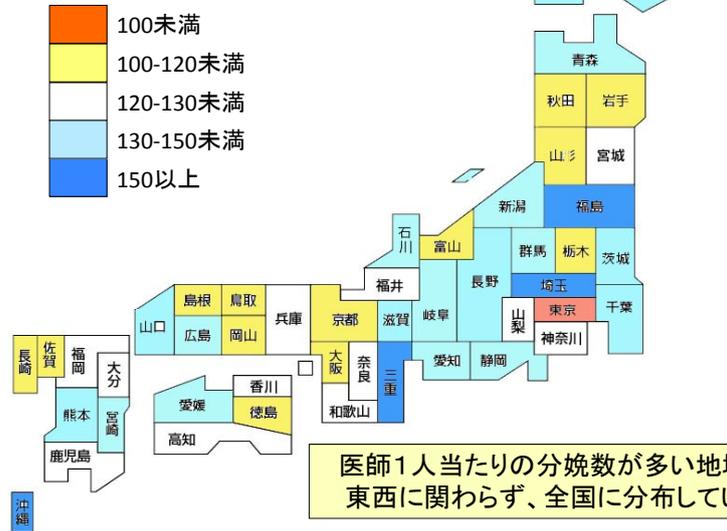
	2006年	2012年	2013年		2006年	2012年	2013年
北海道	134.4	129.0	130.3	滋賀	148.2	145.2	134.6
青森	155.2	148.3	140.9	京都	115.2	107.8	105.5
岩手	146.2	115.8	114.8	大阪	136.3	123.1	118.9
宮城	125.7	114.4	126.4	兵庫	151.9	128.2	124.5
秋田	131.3	99.2	104.9	奈良	132.0	133.8	128.2
山形	130.9	127.3	114.9	和歌山	154.6	129.7	129.9
福島	147.2	150.5	153.4	鳥取	117.2	113.9	108.7
茨城	167.7	137.0	134.7	島根	111.1	106.9	105.6
栃木	116.4	110.0	115.9	岡山	109.4	94.5	106.6
群馬	180.0	146.8	140.4	広島	139.3	159.0	149.2
埼玉	166.7	154.0	158.3	山口	147.8	150.2	131.4
千葉	150.0	133.9	132.1	徳島	106.3	82.8	110.2
東京	92.2	94.4	88.2	香川	130.7	132.8	126.4
神奈川	137.2	128.8	120.6	愛媛	132.0	133.4	144.0
山梨	115.3	123.4	120.5	高知	94.7	129.2	129.0
長野	173.2	134.2	132.8	福岡	140.5	129.1	123.9
静岡	163.9	156.8	143.5	佐賀	123.8	117.4	112.2
新潟	148.1	149.0	148.4	長崎	112.9	117.6	113.7
富山	121.5	120.5	119.8	熊本	137.2	147.8	131.8
石川	135.1	128.1	137.5	大分	122.9	130.6	121.2
福井	127.5	121.9	120.5	宮崎	116.3	138.5	145.2
岐阜	150.2	155.9	142.1	鹿児島	132.6	141.7	130.7
愛知	138.2	142.8	136.7	沖縄	161.4	159.2	152.6
三重	165.7	165.7	164.2	全国	134.3	128.3	124.4

2006年と比較し10自治体、昨年比で12自治体で医師一人あたりの分娩数は増加している。

地域ごとの医師一人当たりの分娩数



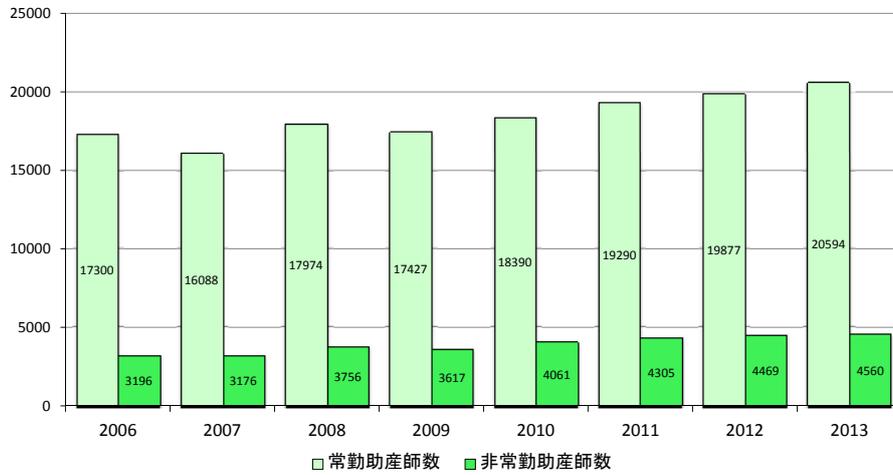
医師1人あたりの年間分娩数 (2013)



医師1人当たりの分娩数が多い地域は東西に関わらず、全国に分布している



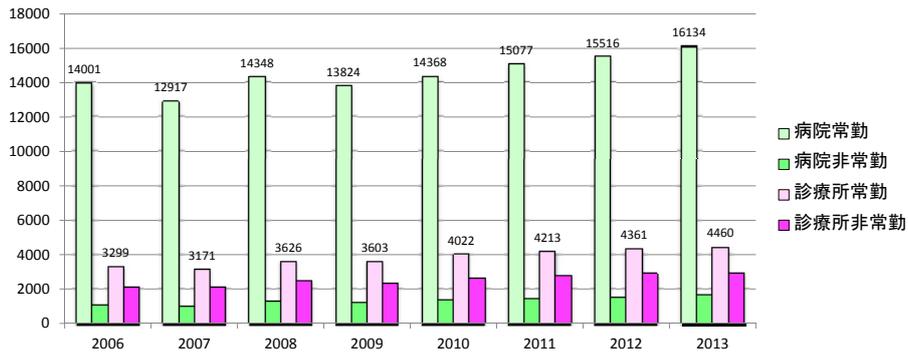
助産師数の推移



2006年と比較し、常勤助産師：3294名、19%増加
非常勤助産師：1364名、43%増加

日本産婦人科医会施設情報調査2006-2013

施設別助産師数の推移

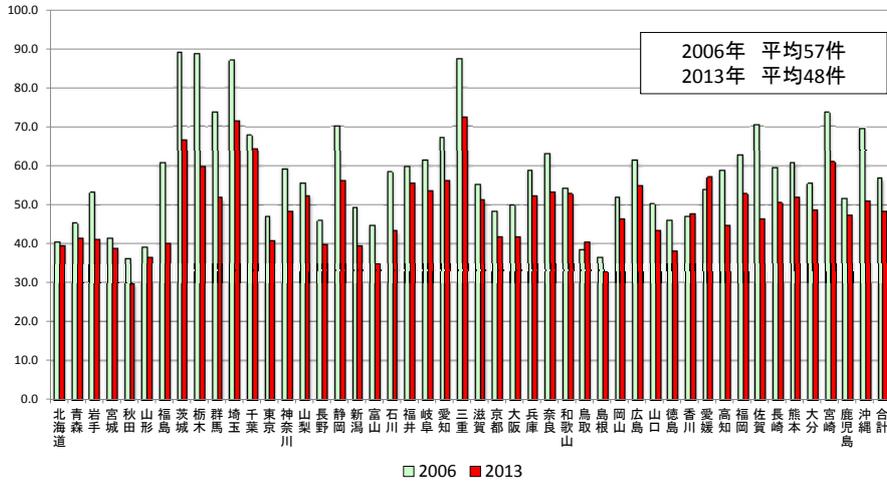


2006年と比較
病院常勤助産師：2133名、15%増加
非常勤助産師：578名、54%増加
診療所常勤助産師：1161名、35%増加
非常勤助産師：786名、36%増加

常勤助産師のいない施設
病院：11施設(1%)
診療所：225施設(16%)
非常勤を含めゼロの施設
病院：8施設(0.8%)
診療所：117施設(8%)

日本産婦人科医会施設情報調査2006-2013

助産師1人あたりの分娩数の推移



2006年と比較し6自治体で助産師数が減少しているものの、3自治体を除くすべての自治体で取扱い分娩数が減少している。

日本産婦人科医会施設情報調査2006-2013

2007年～2013年全国アンケート調査の比較 冊子36ページ表23参照

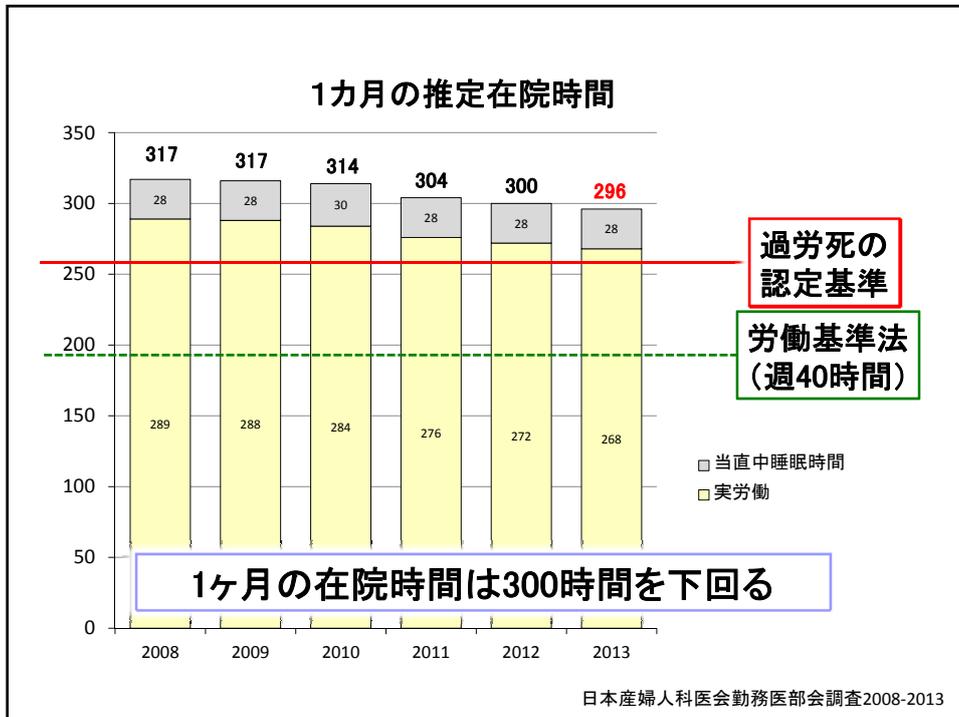
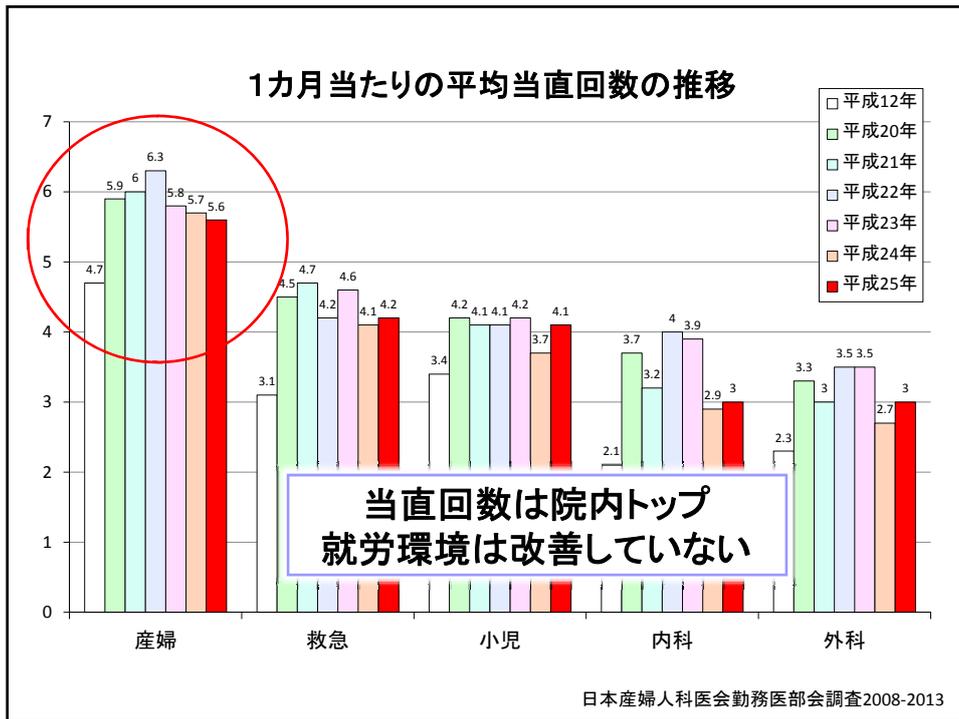
	2013年	2012年	2011年	2010年	2009年	2008年	2007年
対象施設	1103	1,112	1,118	1,142	1,157	1,177	1,281
有効回答(%)	795(72.2)	793(71.3)	754(67.4)	769(67.3)	823(71.1)	853(72.5)	794(62.0)
分娩数							
1施設あたり	510.8	501.0	507.0	498.2	499.8	474.8	446.3
常勤医1名あたり	81.8	83.6	84.5	81.2	81.2	77.8	98.4
1施設あたりの医師数							
常勤医	6.2	6.0	5.9	5.5	5.6	4.9	4.5
非常勤医師	2.5	2.4	2.0	1.9	1.9	1.9	1.5
推定平均当直	6.3	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	NA
回数(〳月)	5.6	5.7	5.8	6.3	6.0	5.9	6.3*
翌日勤務緩和(%)	193(24.3)	172(21.7)	163(21.6)	156(20.3)	156(19.0)	142(16.7)	58(7.3)
手当増額(%)	NA	NA	NA	130(16.9)	144(17.5)	124(14.5)	73(9.2)
分娩手当(%)	463(58.2)	467(58.9)	427(56.6)	416(54.1)	339(41.2)	230(27.0)	61(7.7)
特殊手当(%)	NA	122(15.4)	130(17.1)	130(16.9)	130(16.9)	130(16.9)	41(5.2)
ハイリスク加算の還元(%)	59(10.2)**	57(12.1)**	47(6.1)	47(6.1)	47(6.1)	47(6.1)	5(0.6)

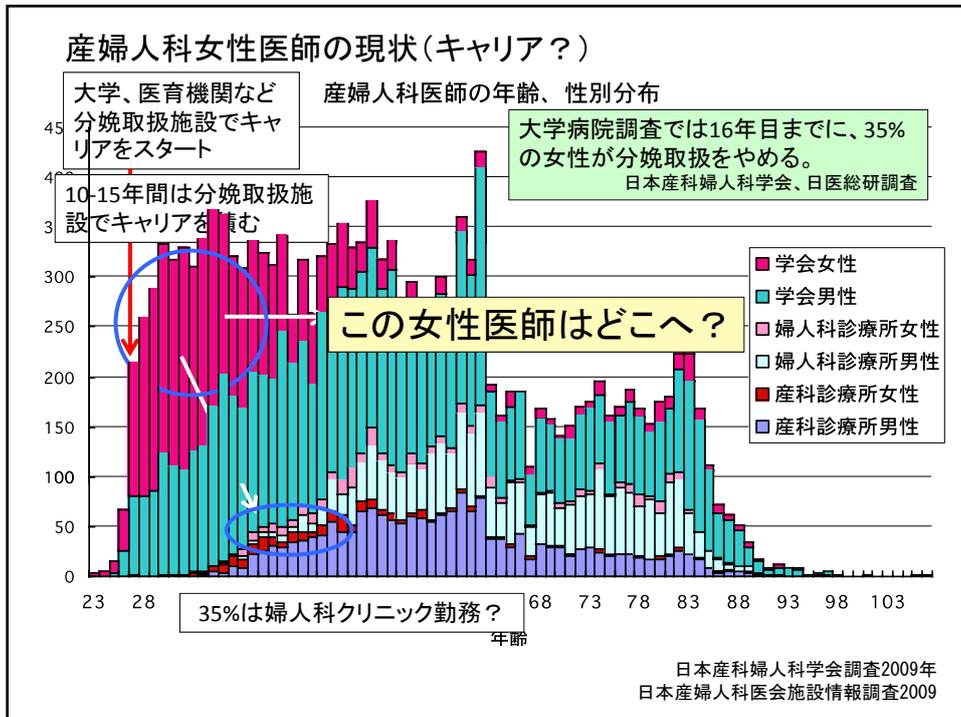
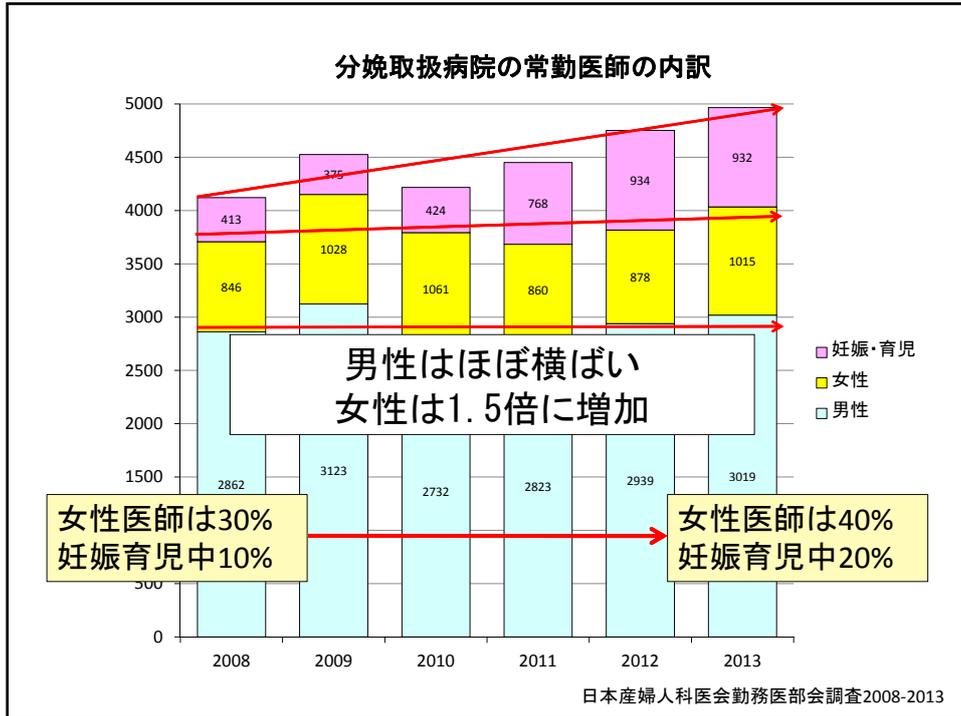
* 2006年度定点調査より換算

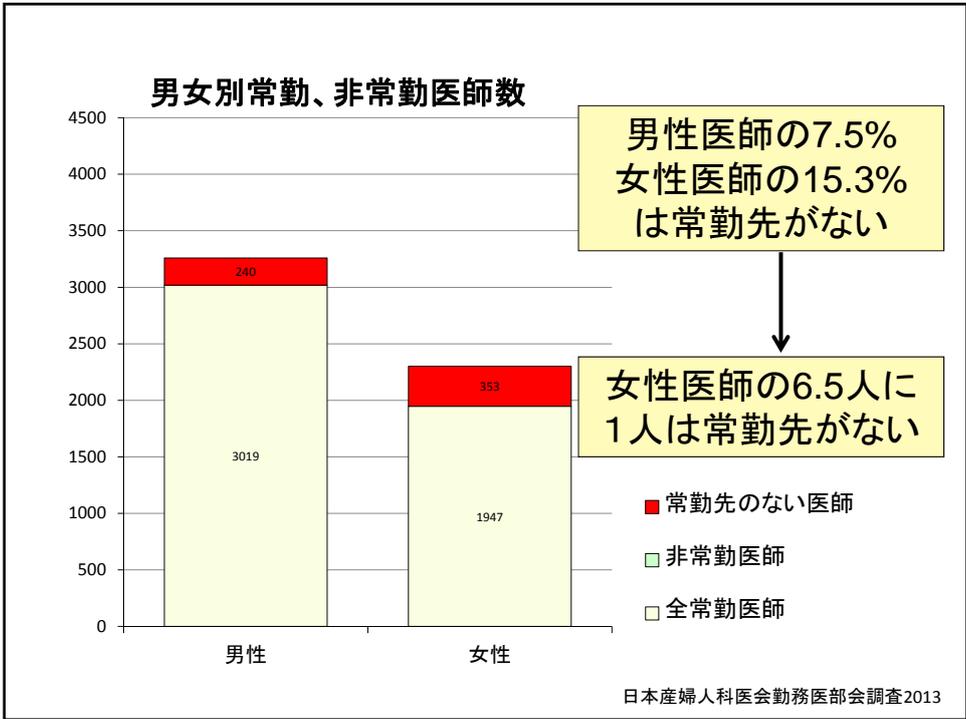
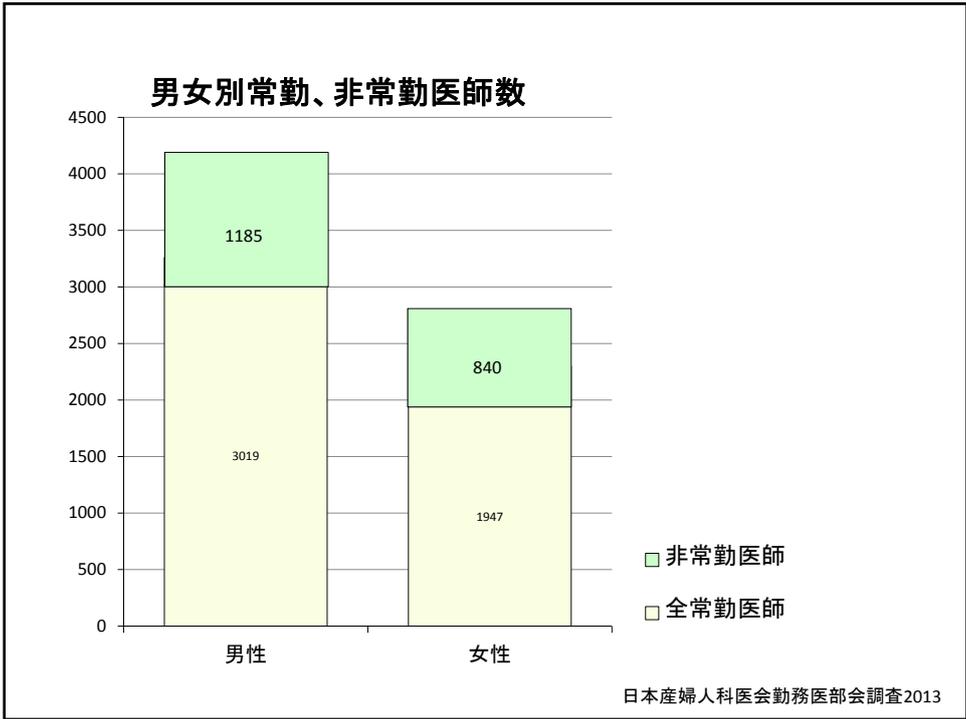
**ハイリスク加算の請求がある施設における頻度

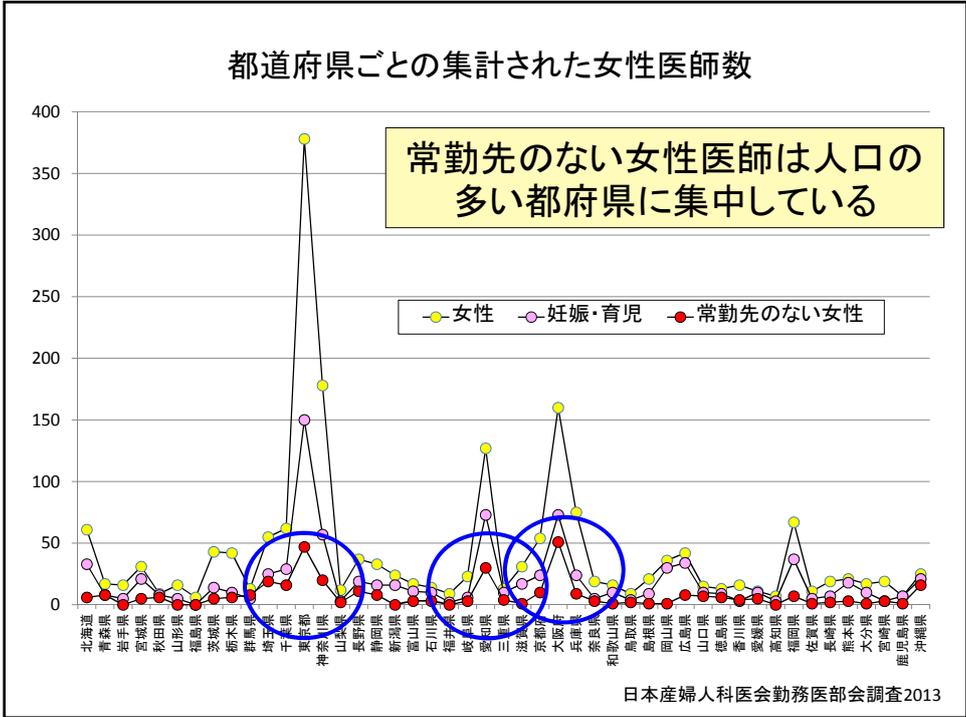
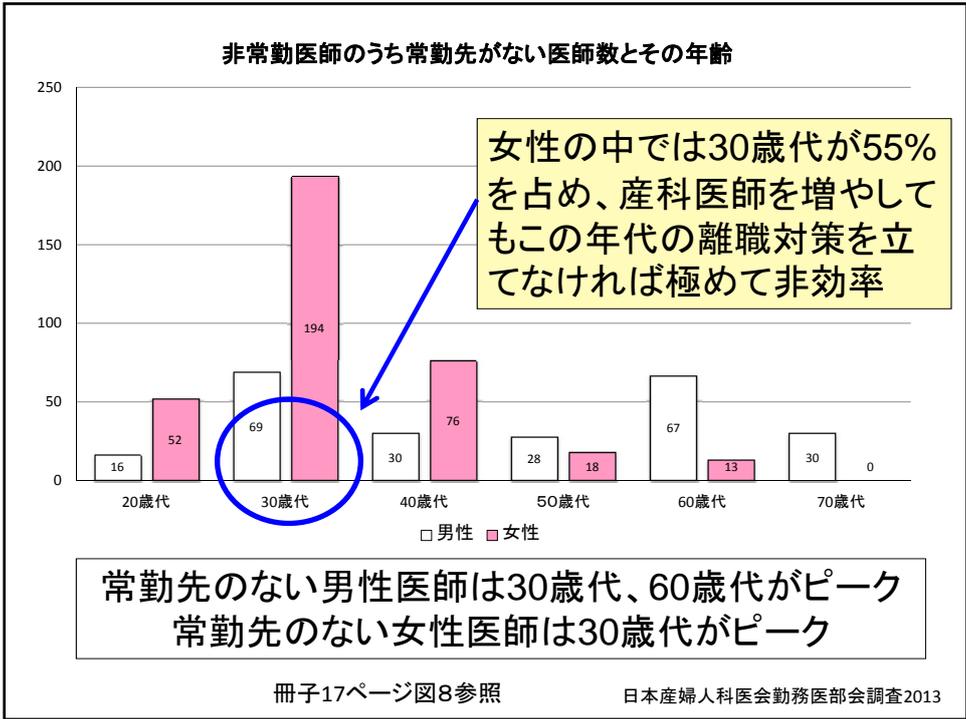
NA: not applicable.

日本産婦人科医会勤務医部会調査2008-2013

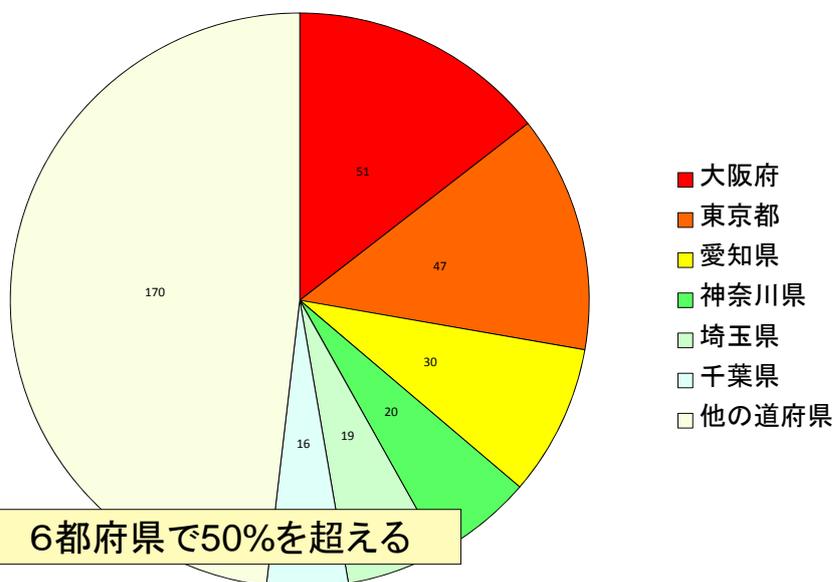








常勤先のない女性医師の分布



日本産婦人科医会勤務医部会調査2013

非常勤のみの勤務になっている理由 (n=412)

主な要因	件数	%
妊娠・出産・出産後育児	90	21.8
育児・家事	79	19.2
定年(年齢的要因)	73	17.7
派遣(大学院生を含む)	51	12.4

冊子15ページ表6参照

妊娠、出産、育児、家事が40%を占める

日本産婦人科医会勤務医部会調査2013

女性医師支援に関する調査結果の比較

冊子37ページ表24参照

	2013年	2012年	2011年	2010年	2009年	2008年
対象施設	1103	1,112	1,118	1,142	1,157	1,177
有効回答率(%)	795(72.0)	793(71.3)	754(67.4)	769(67.3)	823(71.1)	853(72.5)
集計された女性医師数(%)**	1,947(39.2)	1,812(38.1)	1,628(36.6)	1,485(35.2)	1,503(32.5)	1,259(30.6)
妊娠・育児中の女性(%)***	66%が設置、病児保育24%、24時間保育23%					413(32.8)
院内保育所の設置状況						
設置施設数(%)****	526(66.2)	494(62.3)	457(60.6)	426(55.4)	436(53.0)	399(46.8)
病児保育(%)****	190(23.9)	149(18.8)	122(16.2)	92(12.0)	85(10.3)	80(9.4)
24時間保育(%)****	183(23.0)	151(19.0)	114(15.1)	135(17.6)	134(16.3)	111(13.0)
利用者数	198	174	190	172	163	163
代替医師派遣制度(%)****	101(12.7)	104(13.1)	86(11.4)	72(9.4)	79(9.6)	110(12.9)
妊娠中の勤務緩和						
制度がある(%)****	375(47.2)	384(48.4)	363(48.1)	359(46.7)	378(45.9)	388(45.5)
緩和される週数	22.9	21.9	21.8	22.0	22.5	23.3
育児中の勤務緩和						
制度がある(%)****	345(43.4)	338(42.6)	314(41.6)	338(44.0)	363(44.1)	346(40.6)
緩和される期間(月)	20.5	17.9	20.6	14.7	17.5	15.3

*妊娠中:123人(7.6)

**全医師数に対する

***全女性医師数に対する頻度

****全施設に対する頻度

NA: not applicable.

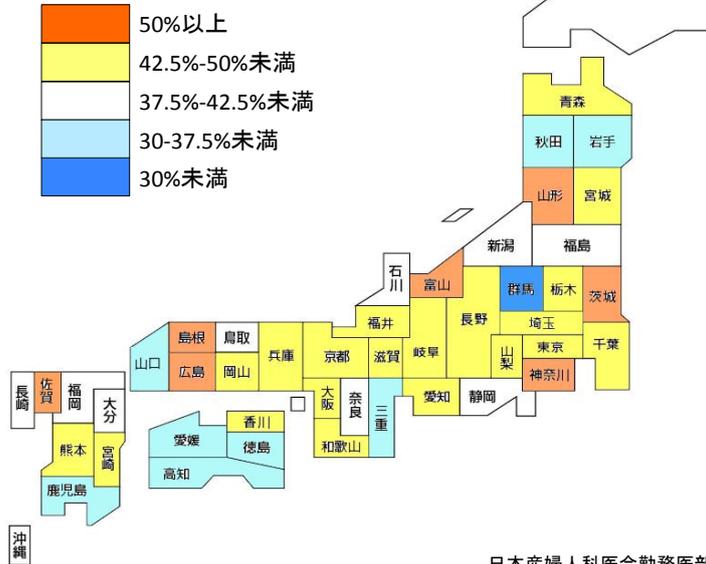
妊娠中47%育児中43%

日本産婦人科医会勤務医部会調査2013

都道府県ごとの施設平均医師数と女性医師の頻度(%)、院内保育所の設置率(%)

	医師数	女性(%)	保育所(%)		医師数	女性(%)	保育所(%)
北海道	5.7	39.3	62.8	滋賀県	7.2	47.5	90.9
青森県	4.9	43.6	44.4	京都府	7.7	46.6	55.6
岩手県	7.7	34.8	75.0	大阪府	7.5	49.6	78.8
宮城県	11.1	46.7	70.0	兵庫県	6.5	47.9	72.7
秋田県	4.6	32.3	12.5	奈良県	8.4	37.6	87.5
山形県	7.4	53.7	55.6	和歌山県	6.2	42.7	100.0
福島県	3.1	38.8	60.0	鳥取県	7.6	39.5	80.0
茨城県	7.7	50.5	92.3	島根県	5.3	56.6	66.7
栃木県	12.2	49.1	50.0	岡山県	6.2	44.6	58.8
群馬県	5.2	28.0	71.4	広島県	6.2	52.3	66.7
埼玉県	8.8	44.9	87.0	山口県	4.7	35.2	81.3
千葉県	8.3	46.8	70.8	徳島県	5.3	35.1	50.0
東京都	11.4	49.4	44.3	香川県	3.7	48.2	54.5
神奈川県	8.5	51.1	82.6	愛媛県	5.9	37.5	57.1
山梨県	9.0	44.4	50.0	高知県	6.3	36.8	100.0
長野県	5.4	45.9	73.9	福岡県	9.1	40.7	63.0
静岡県	7.7	39.1	100.0	佐賀県	10.0	55.0	100.0
新潟県	5.5	39.8	29.4	長崎県	5.3	39.7	20.0
富山県	6.8	50.0	54.5	熊本県	7.6	46.1	72.7
石川県	4.7	42.4	36.8	大分県	8.1	42.1	83.3
福井県	6.5	46.2	100.0	宮崎県	6.2	44.0	46.2
岐阜県	4.8	43.2	100.0	鹿児島県	5.8	30.4	62.5
愛知県	7.3	48.6	74.5	沖縄県	5.8	38.9	28.6
三重県	5.2	31.4	90.9	全国	6.3	39.6	66.2

女性医師の占める割合 (2013)



待遇と施設平均医師数

	実施率	施設平均医師数		平均女性医師数	
		あり	なし	あり	なし
当直翌日勤務緩和	24.3%	7.7	5.8	4.2	3.1
ハイリスク管理加算					
医師への還元	10.2%	9.1	6	4.1	3.3
クレーク配備	60.3%	7.2	4.9	3.6	3
院内保育所	66.2%	6.9	5.1	3.6	3
24時間保育	23.0%	6.7	6.1	3.6	3.3
病児保育	23.9%	7.8	5.7	4.1	3.1
勤務緩和					
妊娠中	47.2%	9	4.2	4.4	2.4
育児中	43.4%	9.4	4.9	4.6	2.8

日本産婦人科医会勤務医会調査2013

- ・医師数増加には女性医師の確保が必須である。
- ・女性の離職防止を含めた医師確保には、当直翌日の勤務緩和、妊娠・育児中の勤務緩和などが有効。

当直回数の評価

	施設数 (%)	当直回数
適正	315 (58.0)	4.5
多すぎる	225 (41.4)	7.3
少なすぎる	3 (0.6)	3.5
計	543 (100.0)	5.7

当直中の合計睡眠時間の評価

	施設数 (%)	時間
十分	176 (34.4)	5.8
不十分	335 (65.6)	4.4
計	511 (100.0)	4.9

他保育所利用の理由 (n=294)

主な理由	件数
家から遠い	96
環境不十分	60
時間合わない	43
満員	24
ナース優先	11
その他	30

医師数の増加なくして、待遇、環境改善は進まない。

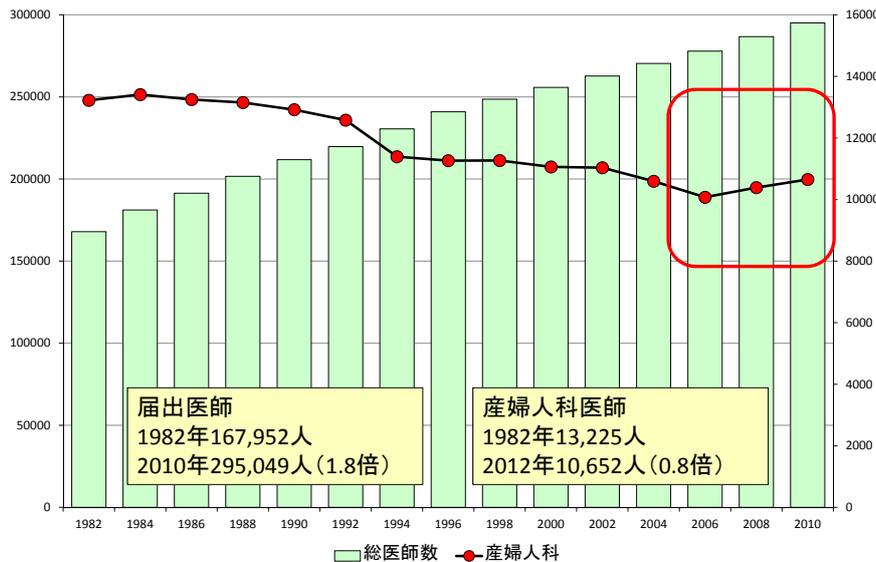
勤務医は、より明るく、楽しく、充実した仕事がしたいと願っている。

待遇や環境について改善したい点 (n=455)

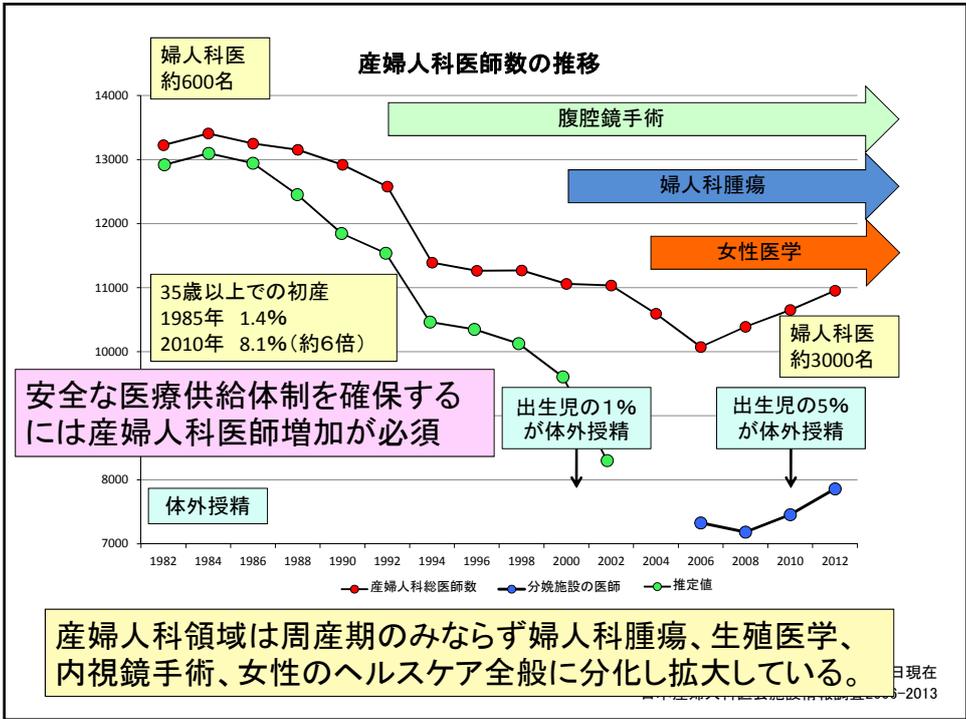
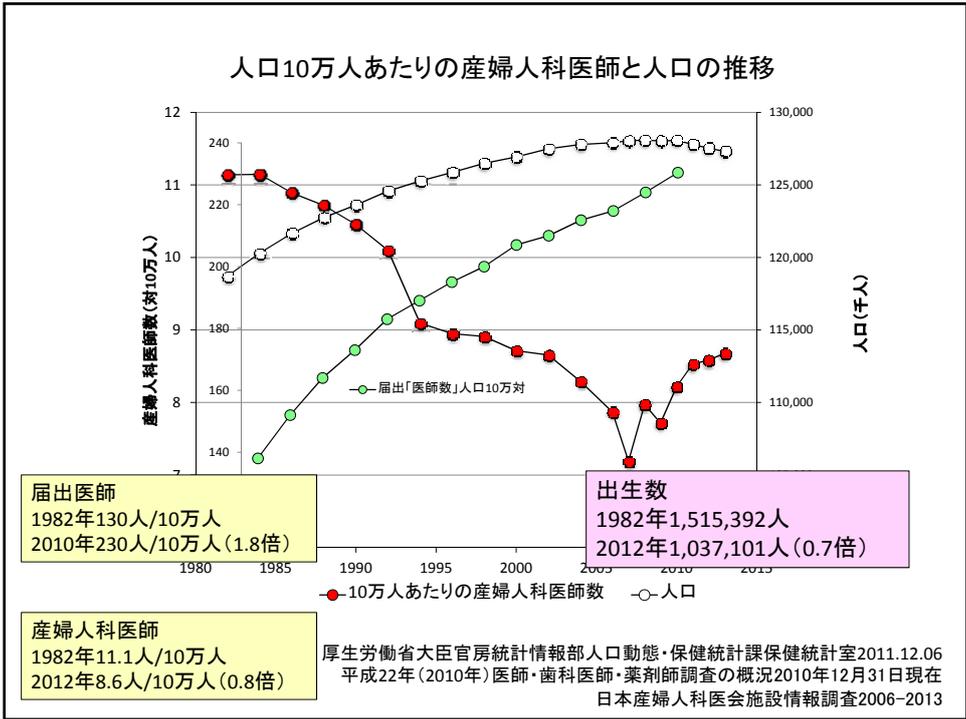
主な改善点	件数	%
医師数の増加 (医療クラーク・医療事務員を含む)	139	31.2
各種手当の実施、増額	100	22.5
院内保育所の設置、充実化	62	13.9
当直翌日の勤務緩和	37	8.3
勤務体制の改善	27	6.1
妊娠・育児中の女性医師待遇	23	5.2

日本産婦人科医会勤務医部会調査2013

届出総医師数と産婦人科医師数の推移



平成22年(2010年)医師・歯科医師・薬剤師調査の概況2010年12月31日現在
日本産婦人科医会施設情報調査2006-2013



問題点

30年前と比較し届出総医師数は1.8倍に増加したが、産婦人科医師は20%減少している。その間、出生数は30%減少しているものの、ハイリスク妊産婦の増加と生殖医学、内視鏡手術などの発達により、業務は拡大し、過重労働になっている。

全国3分の1の自治体で常勤産婦人科医は減少し、地域格差は2倍近くに及んでいる。分娩取扱い病院では就労継続のため、保育所設置、時短勤務、勤務緩和、各種手当の支給など支援に努めているが、女性医師の離職は進む傾向で、6.5人に1人は常勤先がない。新人の60%を占める女性医師の就労継続がなければ、産婦人科医療は破綻する。

医会としての今後の検討課題

女性医師の就労支援:

従来の支援に加え、非常勤医師の活用を検討(調査中)。

医師増加と偏在解消:

年間約1300名(16%)の地域枠入学者への産婦人科専攻勧誘。
クリニックの地域医療への参入促進を検討。

参考資料

日本産婦人科医会施設情報調査2006-2013

年	総医師数	分娩施設				婦人科施設			
		病院		診療所		病院		診療所	
		施設数	医師数	施設数	医師数	施設数	医師数	施設数	医師数
2006	10065	1223	5057	1755	2270	337	392	2590	2346
2007	9208	1090	4485	1584	2079	318	373	2429	2271
2008	10212	1138	4927	1647	2256	380	449	2637	2580
2009	9879	1055	4915	1521	2112	357	408	2459	2444
2010	10525	1084	5242	1554	2213	394	451	2599	2619
2011	10902	1084	5571	1540	2188	398	472	2580	2671
2012	10947	1077	5686	1508	2172	397	483	2512	2606
2013	11049	1065	5880	1451	2145	375	478	2425	2546
昨年比	102	-12	194	-57	-27	-22	-5	-87	-60
2006年比	984	-158	823	-304	-125	38	86	-165	200

日本産婦人科医会施設情報調査2006-2013

参考資料

分娩施設医師数、助産師数の推移2006年-2013年

病院	常勤医師数	常勤助産師	非常勤助産師	分娩数/医師数	分娩数/助産師
2006	5057	14001	1067	97.8	32.8
2007	4485	12917	1014	103.0	33.2
2008	4927	14348	1272	102.4	32.3
2009	4915	13824	1261	102.7	33.5
2010	5242	14368	1395	97.0	32.2
2011	5571	15077	1482	92.9	31.3
2012	5686	15516	1561	90.0	30.0
2013	5880	16134	1645	87.9	29.1
昨年比	194	618	84	-2.1	-0.9
2006年比	629	2133	578	-9.9	-3.7

診療所	常勤医師数	常勤助産師	非常勤助産師	分娩数/医師数	分娩数/助産師
2006	2270	3299	2129	215.7	90.1
2007	2079	3171	2162	231.7	90.3
2008	2256	3626	2484	222.5	82.2
2009	2112	3603	2356	232.2	82.3
2010	2213	4022	2666	229.4	75.9
2011	2188	4213	2823	228.1	70.9
2012	2172	4361	2908	228.4	68.2
2013	2145	4460	2915	224.5	65.3
昨年比	-27	99	7	-3.9	-2.9
2006年比	-125	1161	786	8.8	-24.9

日本産婦人科医会施設情報調査2006-2013